

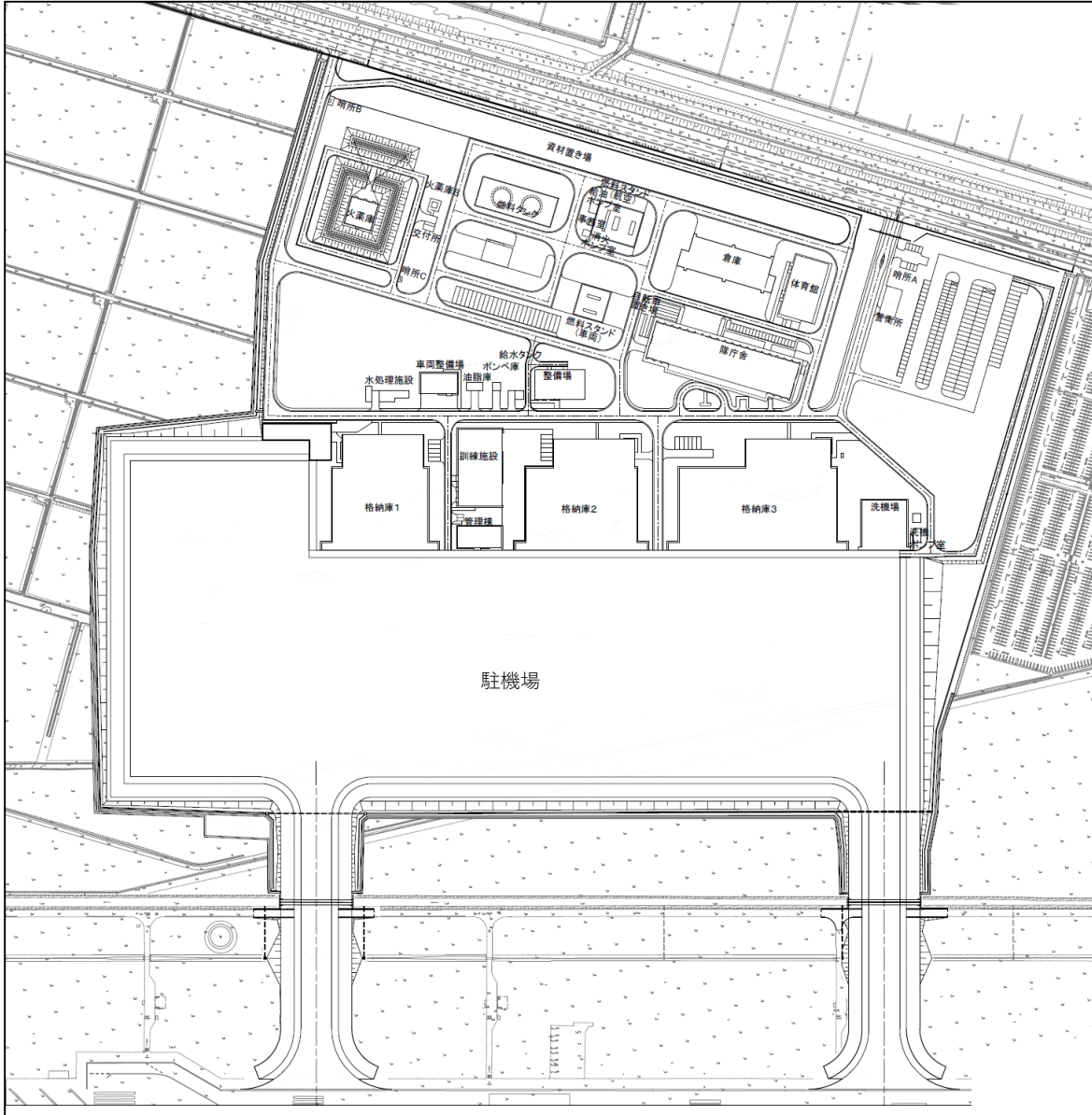
# 全体事業計画

## 佐賀駐屯地（仮称）の早期開設の必要性

- 我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、国民の皆様の生命・財産と領土・領海・領空を守り抜くための取り組みの一つに「島嶼防衛」があります。
- オスプレイは、我が国の島嶼が侵攻を受けた場合の対応の要となる水陸機動団（長崎県佐世保市に配備）を迅速に島嶼に輸送するために極めて重要な役割を有しています。
- このため、**早期に佐賀駐屯地（仮称）を開設し、水陸機動団と一体的に運用できる態勢を構築する必要があります。**

V-22の主要性能		
外観	 オスプレイ (V-22)	 輸送ヘリ (CH-47JA)
最大速度（連続）	約 <b>465km/h</b>	約270km/h
航続距離	約 <b>2,600km</b>	約800km
最大飛行高度	<b>25,000ft (約7,620m)</b>	9,200ft (約2,800m)
乗務員数+搭乗者数	3名+24名	3名+55名
搭載重量（内部）	約9,100kg	約9,100kg
吊上重量（外部）	約6,800kg	約12,900kg
製造会社	Bell Boeing（米）	Boeing社（米）

# 施設の配置計画



## 《施設イメージ》



駐機場



隊庁舎



格納庫



火薬庫



燃料タンク

※ 現在行っている実施設計により変更となる可能性があります。

# 主な施設の計画工程

	工事	工事内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
移駐に最低限必要な工事	準備仮設工事	仮設フェンス、工事用道路、仮設調整池 等	■			
	地盤改良造成工事	地盤改良 約25ha 盛土 約80万m <sup>3</sup>	■			
	駐機場誘導路	駐機場 約8ha 誘導路 2本		■		
	格納庫	1階建て 3棟		■		
	隊庁舎	8階建て		■		
	管理棟	2階建て		■		
	燃料タンク	1200kl 2基		■		
その他工事	駐機場	駐機場 約3ha			■	
	倉庫	2階建て			■	
	車両整備場	1階建て			■	
	体育館	2階建て			■	
	火薬庫	土提含む			■	

- ※ 現在行っている実施設計や工事状況により変更となる可能性があります。
- ※ ノリ漁期の期間はコンクリートの打設は行いません。

# 佐賀駐屯地（仮称）整備に係るダンプ運行計画（令和5年6月時点）

		R5年度									R6年度									R7年度				
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
4ルート共通																								
8:30~18:30	21台運行 延べ 65台/日																							
	70台運行 延べ 210台/日																							
	120台運行 延べ 360台/日																							
	(砕石等資材運搬 60台/日)																							
2ルート（岡本建設～、田中造園土木～）のみ ※岡本建設～のルートは18:30~20:00まで																								
18:30~22:00	30台運行 延べ 35台/日																							
	60台運行 延べ 70台/日																							
1ルート（田中造園土木～）のみ																								
22:00~6:00	60台運行 延べ 180台/日																							

【参考】佐賀空港建設時の土砂運搬のうち、平成6～8年度は、10tダンプ**70～120台使用**し、約400台/日で運行（佐賀空港工事誌より）

6/19～（21台運行）の内訳  
 柳川商店からのルート：4台（08:30-18:30）  
 五 大からのルート：4台（08:30-18:30）  
 岡本建設からのルート：6台（08:30-18:30）  
 田中造園土木からのルート：7台（08:30-18:30）

7/14～（120台運行）の内訳  
 柳川商店からのルート：30台（08:30-18:30）  
 五 大からのルート：26台（08:30-18:30）  
 岡本建設からのルート：30台（08:30-18:30）  
 田中造園土木からのルート：34台（08:30-18:30）

9/14～（18:30以降、60台運行）の内訳  
 岡本建設からのルート：30台（18:30-20:00）  
 田中造園土木からのルート：30台（18:30-22:00）

6/30～（70台運行）の内訳  
 柳川商店からのルート：18台（08:30-18:30）  
 五 大からのルート：15台（08:30-18:30）  
 岡本建設からのルート：18台（08:30-18:30）  
 田中造園土木からのルート：19台（08:30-18:30）

8/14～（18:30以降、30台運行）の内訳  
 岡本建設からのルート：15台（18:30-20:00）  
 田中造園土木からのルート：15台（18:30-22:00）

10/14～（22:00以降、60台運行）の内訳  
 田中造園土木からのルート：60台（22:00-06:00）

## 交通安全対策

- ・子どもの安全の確保や通勤への影響を最小限とするため、通勤通学時間帯を踏まえ、7：00～8：30までは運搬は行いません。
- ・近隣の小学校・中学校付近に交通誘導員を配置します（6：00～19：00）。
- ・工事場所出入口にも交通誘導員を配置し、工事用車両と一般車両や歩行者との交通事故防止に努めます。
- ・工事用資材の運搬時は、運搬経路を適時パトロールし、交通安全に努めます。
- ・ダンプトラックには、本工事に係る車両であることを認識できるように、九州防衛局と記載された幕等を取付けます。
- ・安全訓練を定期的実施し、交通に関する注意喚起（交通マナーの徹底、法定速度の遵守、過積載の防止）を徹底します。
- ・日々の車両点検を実施します。
- ・現場内の安全パトロールによる資材等の飛散防止措置を実施します。
- ・土砂・資材の運搬経路については、佐賀市からの意見も参考に、市民の生活環境及び事業活動に影響が可能な限り小さくなる経路とします。
- ・佐賀県、佐賀市、佐賀県警本部等の関係機関の間で連絡体制を整備し、駐屯地の工事に係る交通安全対策や運搬経路等について意見交換を行いつつ工事を進めます。

## 交通渋滞対策

- ・大型車両の運行が集中しないよう、運行台数を把握し、搬入時間を調整します。
- ・特定のルートのみを通行しないよう分散化を図ります。

# (参考)ダンプトラックによる運搬経路



※点線はサブルートを示しています。基本的には実線のルートを通行しますが、混雑状況等を踏まえ、サブルートを走行する場合があります。